

平成 18 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 湊 敏

最終学歴	京都大学大学院工学研究科石油化学専攻博士課程修了			
取得学位	京都大学工学博士			
所属学会	日本化学会、米国化学会			
現在の専門分野	有機量子化学			
研究課題	有機化学反応機構の理論的研究			
【社会的活動】 「ITBL 技術普及・利用動向調査委員会 計算化学分科会」委員 「QCLDB（量子化学文献データベース）」データ収集・査読者 「研空室で実現できる最新化学計算」（日本化学会近畿支部）講師 「Gaussian03講習会」（ITBL）講師				
【学内活動】（学内職歴を含む） 情報処理センター所長				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（学会発表） The Biradical Reactivity of Benzyne Revealed by Reactions with Tropone and Tropothione	共	2006年5月	XII-ICQC 2006 (Kyoto)	ベンザインとトロポンおよびトロポチオンの反応を実験的および理論的に研究することにより、これまで親電子試薬であると考えられてきたベンザインがパイラジカル性を持っていることを明らかにした。